



12月4日東北新幹線全線開業

市内で開業を祝うイベントが開催されました

12月4日、東北新幹線が全線開業し、七戸十和田駅では記念式典が開催されたほか、七戸十和田駅と十和田市内を結ぶシャトルバスやタクシーなどの2次交通が運行されました。市内では東北新幹線全線開業を祝う歓迎イベントとして官庁街通りで十和田古代馬絵巻の上演やアーツ・トワダ・ウィンター・イルミネーションの点灯式、十和田湖畔休屋地区では12月4日・5日、11日・12日の4日間、ひめます祭りが開催されました。



①

七戸十和田駅



②

③

④

官庁街通り

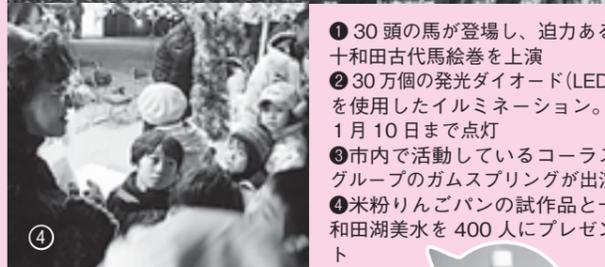


①



②

③



④

- ① 30頭の馬が登場し、迫力ある十和田古代馬絵巻を上演
- ② 30万個の発光ダイオード(LED)を使用したイルミネーション。1月10日まで点灯
- ③ 市内で活動しているコーラスグループのガムスプリングが出演
- ④ 米粉りんごパンの試作品と十和田湖美水を400人にプレゼント

十和田湖畔休屋地区



①

②



③



④

- ① 1日300杯限定で振舞われたひめます汁。だしがでていると好評
- ② 無料で特別運行の遊覧船で湖上遊覧を楽しんだ観光客
- ③ 十和田湖の名物ひめますの塩焼き
- ④ 遊覧船ターミナルで行われた民謡と津軽三味線の演奏

交通安全協会などが飲酒運転防止活動 飲酒運転の撲滅を呼びかけました

12月13日、青森銀行十和田支店前で飲酒運転防止活動の出動式が行われました。この活動は12月11日からの冬の交通安全県民運動の一環として行われたもので、交通安全協会や同協会青年部、交通指導隊、警察署などが参加しました。出発式終了後、参加者は市内飲食店を回り飲酒運転の防止を呼びかけるポスターやボックスティッシュを配布しました。

交通安全協会の田島一史会長は「この活動を通して飲酒による交通事故の撲滅につながってほしい」と話していました。



飲酒運転の撲滅に向けて出動しました

ハテナ トワダでできることってなんだろう？ 現代美術館でハテナワークショップ

12月11日、現代美術館の休憩スペースでハテナワークショップ in 十和田が開催されました。このワークショップはアートによるまちづくりを目的に活動する団体 mtt が主催したものです。今回で3回目となったワークショップには子どもから大人まで15人が参加し、車座になって十和田市の好きなところを発表しました。ゲストとして現代美術館の運営委員会委員の小池一子さんと北原啓司さん、弘前市でアート関連の会社を営む立木祥一郎さんも加わり、4時間にわたり白熱したワークショップが行われました。



これぞ！と思う十和田市の魅力を発表し合う参加者

急発進や急加速をしない環境に配慮した運転を！

エコドライブコンテスト 十和田パイオニア(株)優秀賞受賞

環境省と独立行政法人環境再生保全機構が主催する平成22年度エコドライブコンテストで十和田パイオニア(株)が上位3賞の優秀賞を受賞。12月8日、小山田市長に喜びの報告を行いました。コンテストは企業と従業員が協力し、大気汚染の防止を目指すもので全国から12,000社が応募。十和田パイオニア(株)は営業車、従業員の私有車のみならず関連会社にも呼びかけるなどの活動が評価され県内では初の上位入賞となりました。担当の畑山健二さんは「地域貢献の一つとして取り組んできたことが評価されてうれしい」と話していました。



地域にエコドライブを普及していきたいとのことです

三村県知事と意見交換 セーフコミュニティとわだをすすめる会

12月8日、県が主催する未来デザイン県民会議「知事との元気まるごとトーク」が市役所で開催されました。この会議は、地域で元気に活動している県民と知事が意見交換し、有益な意見や提言を県政に反映させるもので、セーフコミュニティとわだをすすめる会(上野雅会長)の会員4人が参加しました。会が重点的に取り組んでいる自殺予防や介護予防の活動などを紹介し、市民が安全安心に暮らせる環境づくりやコミュニティの大切さを説明すると、三村知事は熱心に耳を傾けていました。



自殺予防の活動について説明する会員